



2018 年も残りわずか。振り返ると今年は 6 月に大阪府北部地震、7 月に西日本豪雨、8 月 9 月は台風が相次いで徳島に上陸し、そして 9 月に北海道胆振東部地震、と多くの被害のあった辛い一年となりました。「今年の漢字」も「災」でした。

来年は明るいいい年でありますように、日々の備えをしつつ願っています。

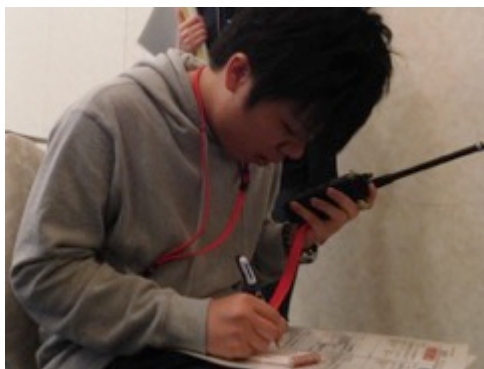
## ローカル DMAT 研修開催

日本 DMAT は 4 日間の養成研修を受講することで隊員に認定されますが、各都道府県で開催される 1.5 日研修を受講することで「ローカル DMAT (徳島 DMAT)」に認定されます。現在約 50 名が徳島 DMAT として登録されていますが、先日徳島県でこの研修が開催され、田岡病院から 5 名が受講されました。

日時:平成 30 年 11 月 17 日(土)18 日(日)

場所:グランヴィリオホテル徳島

トランシーバーの使い方に始まり、シミュレーション形式でのケースシナリオをこなしながら災害の基本である「CSCATTT」の理論と実践を学ばれました。なおローカル DMAT 隊員はさらに 2.5 日間の研修(大阪)を受講することで、日本 DMAT に認定されます。



### 以下参加者の声です

2 日間の研修を通じて、大災害発生時には CSCATTT に沿って行動することが重要であることがよく理解できました。傷病者の方に対するトリアージや全身観察も重要ですが、看護師としてその方の貴重品の管理や持ち物に気を配ることも重要で、これからの生命や人生に直結することになるかもしれないことを学びました。また精神面でのケアや、どんな環境下でもプライバシー保護が平時と同様いかに重要であることがわかりました。2 日間の研修を通じて、DMAT の活動として無線機の使用方法や METHANE に沿っての情報伝達、EMIS 入力、活動者全員で情報共有し目標を定めて活動してくれたために役割分担を決めてチームで一致団結して対応する大変さがよくわかりました。これからも災害意識を高めて災害時に活動できるよう、常に復習したいと思います。研修に参加して勉強になり非常に良かったです。ありがとうございました。

## DMAT 技能維持研修が開催されました

日本 DMAT メンバーは資格取得後も継続して訓練を行っています。今回、中国四国の技能維持研修が徳島県で開催されました。

日時:平成 30 年 11 月 26 日(月)27 日(火)

場所:徳島県総合福祉センター

中国四国から 140 余名が参加され、EMIS 入力やク  
ロノロ記載方法の実習、安全管理の注意点、新た  
に変わっている SCU 運用や MATTS 管理、さらに  
地域を統括する活動拠点本部での活動、などの実  
技を行いました。当院からも 6 名が受講されました  
が、養成研修を受講した時とは内容も新しくなっ



います。特に熊  
本地震時にお  
ける病院避難  
の話や、西日  
本豪雨での避  
難所アセスメ  
ントの話題など  
が加わっており、  
皆さん知識のブ  
ラッシュアップが  
図れたのではない  
でしょうか。



このような技能維持研修を通じて、DMAT は常に最新の知識と技術に触れ、各メンバ  
ーはブラッシュアップを図っています。

## 家具の転倒防止していますか？

自宅での防災対策の一つに家具の固定があります。阪神淡路  
大震災では亡くなった方の 8 割以上が家屋倒壊・家具転倒等  
による圧死・窒息死、怪我をした方の半数は家具の転倒によるもの  
でした。

家具の下敷きにならないための対策は幾つかあります。

- ・ 家具のある部屋では寝ない、家具が倒れても大丈夫な場所  
で寝る。
- ・ 家具は、壁に密着させて、留め具などで固定する
- ・ 転倒防止器具は大きさにあったしっかりしたものを取り付ける
- ・ 積重ね家具は、つなぎ目をしっかり留めておく

津波から逃げる以前に揺れで死んでしまうなんてことのないように、準備しましょう。



## 2018 年も大変お世話になりました

院内の災害対策の現状を知っていただき、皆さんとともに考え、備えを充実させていくためのツ  
ールとして発行を続けております「災対瓦版」も、今号で 50 号を迎えることができました。来たる  
2019 年は元号も新たになり文字通り新時代となります。引き続き、どんな災害にも対応できるよ  
う、皆さんとともに様々な活動を続けていきたいと思ひます。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

良いお年を！